

# MX モータ 交換手順

AUTOMATIC LABELING SYSTEM

## LA-8 シリーズ



---

 **警告**

---

本機を末永くお使いいただくために、またトラブルや故障を未然に防ぐためにも、日常のお手入れが必要です。作業終了後は、毎日清掃して常に清潔に保つよう to してください。

## MX モータを交換する

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 交換を行う前に、操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ってください。ラベラーの駆動部やコンベヤーベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。</li><li>● 印字部周辺、駆動部周辺は高温になっている場合がありますので注意してください。火傷の原因となることがあります。</li></ul>
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 印字部とプラテンローラーを傷付けないよう注意してください。紙送り不良や印字不良の原因となります。</li></ul>

### ■ 作業開始前にご準備頂くもの

- 六角レンチセット
- ニッパー
- プラスドライバー (2号)
- 結束バンド (適量)



**1** 操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ります。

**2** MX モータと MX ファンのハーネスを切り離します。



**3** 写真のボルト (M5) を緩め、ラベラー本体から MX ユニットを取り外します。

- ボルトを 2 か所取り外しますが、ボルト・ワッシャ類を紛失しないよう注意してください。



**4** 取り外した MX ユニットのハーネスを固定している結束バンドを切り取ります。

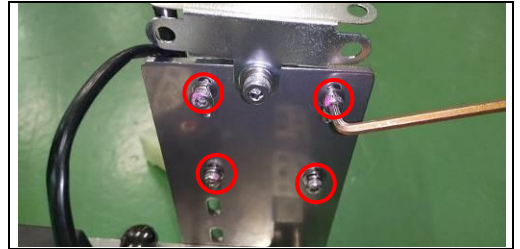


**5** コンデンサからハーネスを切り離します。



**6** MX ユニットから MX モータを取り外します。

- ボルト(M3)を4か所取り外しますが、ボルト・ワッシャ類を紛失しないよう注意してください。



**7** プーリーを固定しているセットビス(M3)を緩め、モータ駆動軸からプーリーを取り外します。

- プーリー固定のセットビスは2本あります。



**8** セットピース 4本を取り外します。



**9** 新しいモータにセットピース 4本を取り付けます。

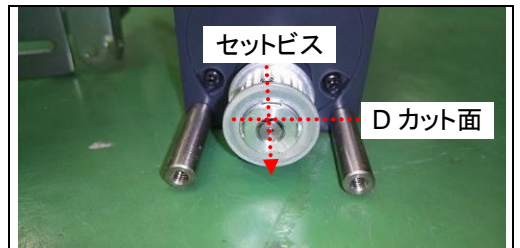
- モータ駆動軸はギヤヘッドの中心に付いていません。従ってモータとギヤヘッドの位置関係に注意して組み付けてください。
- 写真の位置関係で組み付けをしなかった場合、正しく動作しません。



**10** モータ駆動軸にプーリーを取り付けます。



**11** プーリー固定のセットビスはモータ駆動軸のDカット面に合わせます。



**12** プーリーとモータ駆動軸の面を合わせてセットビスを締め付けます。

- プーリーの端面に対しモータ駆動軸が凹んだり、飛び出したりすることがないように固定します。
- プーリー固定のセットビスは 2 本あります。



**13** タイミングベルトをプーリーに掛けながら MX ユニットにモータを取り付けます。

- タイミングベルトにテンションがかかるように、矢印の方向にモータを目一杯押し当てた状態で固定します。



**14** コンデンサのハーネスを接続します。

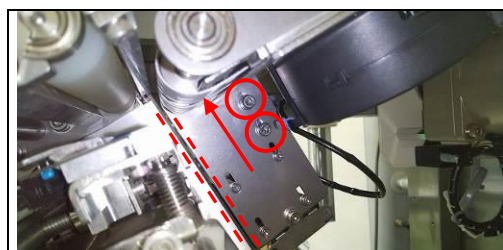


**15** 結束バンドでハーネスを固定します。



**16** MX ユニットをラベラー本体に取り付けます。

- 矢印の方向に目一杯押し当てた状態かつ、写真の直線部分(ラベラー本体フレーム/MX ユニットフレーム)同士が平行となるように固定します。



**17** MX モータと MX ファンのハーネスを接続します。



**18** 操作パネルの電源を入れ、MX ベルトが正しい方向に回転することを確認します。

- コンベヤーの電源スイッチを入れ、ワークを投入し、ラベルが正常に貼付けられることを確認します。

